

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	YIC 看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	101 単位	9 単位	
		夜・通信			
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	112 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上にて公表 https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	YIC 看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 <https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	4 年 2021 年 3 月 ～2025 年 3 月	理事 管理・運営に関する 意見具申及びガバ ナンス強化
非常勤	共美工業株式会社 代表取締役	4 年 2021 年 3 月 ～2025 年 3 月	理事 管理・運営に関する 意見具申及びガバ ナンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	YIC 看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各授業科目についての授業方法及び内容、到達目標、成績評価の方法などはホームページ上のシラバスを参考にする。特に成績評価方法については、定期試験・小テスト・レポート課題・授業態度・演習の観点から評価するが、各授業科目について評価割合が変わるので、注意しておくこと。また、成績評価については、秀・優・良・可・不可の5段階での評価を行う。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上にて公表 https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目の単位認定は、科目試験、実習の成績、履修態度、課題への取組状況、提出期限の遵守等に基づき行う。介護福祉学科においては、履修すべき授業時数の3分の2(但し、実習においては5分の4)以上の出席に満たない者については、当該科目の認定試験及び実習評価を受けることができない。ただし、欠席の理由がやむを得ないと認めた場合は、授業の補習又は再実習を受け、評価を受けることができる。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 $\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	上記 GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表 https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の教育課程に定める授業科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数(単位数)を修得している。 b. すべての校納金(学費、教材費等)が納められていること。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ上にて公表 https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	YIC 看護福祉専門学校学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
財産目録	https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	看護学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3000 単位時間／101 単位	1 8 3 0 単位時間 ／ 7 1 単位	1 3 5 単 位時間/ 7 単位	1 0 3 5 単位時間 ／ 2 3 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			3000 単位時間／101 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
2 2 0 人		1 8 2 人	0 人	1 2 人	5 4 人		6 6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定められたカリキュラム改正の主旨に準じてカリキュラム編成を行っている。年間の授業計画は、学科会議、運営会議、教育課程編成委員会において評価し、次年度計画を立案している。各科目の授業計画は、シラバスを作成し、年度当初学生に配布するとともにホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要）【GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0 の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 【履修科目の単位数×GP】の合計 GPA＝ 履修した科目の総単位数 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。
卒業・進級の認定基準

(概要) 学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。
学修支援等
(概要) 学年担当制 国家試験対策【入学前教育、基礎力リサーチ、スマホやWEBを活用した問題配信】 キャリアサポート支援

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	人 (%)	35人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 様々な求人情報をキャリアサポート室に保管。在学期間中にビジネスマナーの集団指導、個別に履歴書の書き方、面接対策や小論文添削などを行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
159人	2人	1.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時、悩み事相談について、学内の学生相談窓口及び総合支援室（YICグループのキャリアカウンセラー、教育カウンセラー、臨床心理士によるカウンセリング等の対応）を紹介する。 担任（介護福祉学科）、学年担当（看護学科）を置き、定期面談に加え、個別面談により、生活面・学習面の支援を実施している。退学を考えている学生及び保護者との面談を行い、退学を考えるに至った経緯や現在の意思を確認し、状況によっては、カウンセリングの紹介や今後の進路の再考、自分と向き合う機会の確保として休学を勧めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2129 単位時間／112 単位	1 5 2 3 単位時間 / 8 9 単位	1 5 0 単位時間 / 1 0 単位	4 5 6 単位時間 / 1 3 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5 0 人		3 5 人	7 人	6 人	1 0 人	1 6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）社会福祉士介護福祉士学校指定規則に定められたカリキュラム改正の主旨に準じてカリキュラム編成を行っている。年間の授業計画は、学科会議、運営会議、教育課程編成委員会において評価し、次年度計画を立案している。各科目の授業計画は、シラバスを作成し、年度当初学生に配布するとともにホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要）GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP は秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0 の順に付与する。 ② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。 【履修科目の単位数×GP】の合計 GPA＝ 履修した科目の総単位数 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。
卒業・進級の認定基準
（概要）【学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 以下の卒業要件のもと卒業判定会議を経て卒業を認定。 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の教育課程に定める授業科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を修得している。 b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。
学修支援等
（概要）留学生対応として、日本語検定試験に向け、日本語指導の非常勤講師を雇用し、週1回2コマの日本語支援を行う。教員による日本語支援、専門科目の学習支援を行う。 国家試験対策：教員チューター制、学生チューター制 キャリアサポート：ビジネスマナー、履歴書の書き方、模擬面接

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、通所介護、グループホーム等			
（就職指導内容） 様々な求人情報をキャリアサポート室に保管。在学期間中にビジネスマナーの集団指導、個別に履歴書の書き方、面接対策や小論文添削などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験受験資格、レクリエーション介護士2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.5%
（中途退学の主な理由） 学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学時、悩み事相談について、学内の学生相談窓口及び総合支援室（Y I Cグループのキャリアカウンセラー、教育カウンセラー、臨床心理士によるカウンセリング等の対応）を紹介する。 担任（介護福祉学科）、学年担当（看護学科）を置き、定期面談に加え、個別面談により、生活面・学習面の支援を実施している。退学を考えている学生及び保護者との面談を行い、退学を考えるに至った経緯や現在の意思を確認し、状況によっては、カウンセリングの紹介や今後の進路の再考、自分と向き合う機会の確保として休学を勧めている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	200,000 円	800,000 円	200,000 円	実習費・教材費として 320,000 円
介護福祉学科	150,000 円	650,000 円	200,000 円	実習費・教材費として 200,000 円
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校関係者評価委員会は、原則として年2回開催する。 ＜評価の活用方法＞ ① 学校自己点検・自己評価及び各アンケート結果を分析・課題の明確化を図り、次年度の重点項目（案）を作成し、学校運営委員会で検討する。 ② 年度末に開催する第2回学校関係者評価委員会にて、今年度の評価について報告を行うとともに、次年度の学校運営について、重点項目（案）の承認を得る。 ③ 学校関係者評価委員会で承認を得た重点項目を全教職員で共有し、各学科や部署の目標に反映させる。 ④ 重点項目の取り組みについては、毎月のアミーバ会議、学校運営会議、職員会議で報告し、必要があれば計画修正を行う。 ⑤ 年度途中に開催する第1回学校関係者評価委員会にて、重点項目の取り組みについて中間報告を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高等学校	2021年4月～2023年3月	企業
山口県看護協会	2021年4月～2023年3月	職能団体
山口県介護福祉士会	2021年4月～2023年3月	職能団体
セントヒル病院 (看護学科実習病院)	2021年4月～2023年3月	企業
特別養護老人ホーム (介護福祉学科実習施設)	2021年4月～2023年3月	企業
看護学科保護者	2021年4月～2023年3月	保護者
介護福祉学科保護者	2021年4月～2023年3月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/nw/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/nw/
--